震災伝承施設の果たす役割

津波遺構たろう観光ホテル

津波の威力歴然 映像も公開

岩手県宮古市にある「たろう観光ホテル」は1986年に建てられ、市民や観光客に愛されてきた施設だ。

市の資料によると、東日本大震災で高さ約17㍍という津波被害を受けて4階まで浸水、2階までは柱を残したままで流失したが、倒壊することなく、現在の姿でとどまった。津波の威力や恐ろしさを伝える貴重な施設といえる。

市は甚大な被害の記憶を風化させることなく、後世に伝えるための震災遺構として保存することを決定。2014年に市が取得し、16年に「被災したありのままの姿を残すこと」を目的とした保存整備工事を終えた。防災ガイド「学ぶ防災」に申し込めば、施設内部の見学が可能で、震災当日にホテルで撮影された津波映像も視聴できる。2020年7月には、田老地区で震災の記憶や教訓を学ぶツアーの利用者が20万人に達し、たろう観光ホテルで記念のセレモニーが開かれた。

津波の威力が伝わる建物だ

南三陸311メモリアル

防災・減災の大事さ学ぶ

来館者10万人超 ラーニング提供

宮城県南三陸町の震災伝承施設「南三陸311メモリアル」は、南三陸町のさんさん商店街に隣接する。昨年10月オープンと比較的新しい施設だ。にも関わらず、5月6日には来館者が10万人に達した。

10万人目のタイミングで来館したのは栃木県から来た7人で、町の観光協会から記念品が贈られた。

同施設のメインコンテンツは「ラーニングプログラム」で、自分自身のこととして自然災害について学びあうことができ、参考になる。

プログラム1は「生死を分けた避難」、同2は「そのとき命が守れるか」などだ。住民の証言映像を見て、「もし自分がそこにいたら、どう考え行動するか」を周りの人と対話しながら考えるため、「とても身になるプログラム」と好評。

斬新な外観が特徴

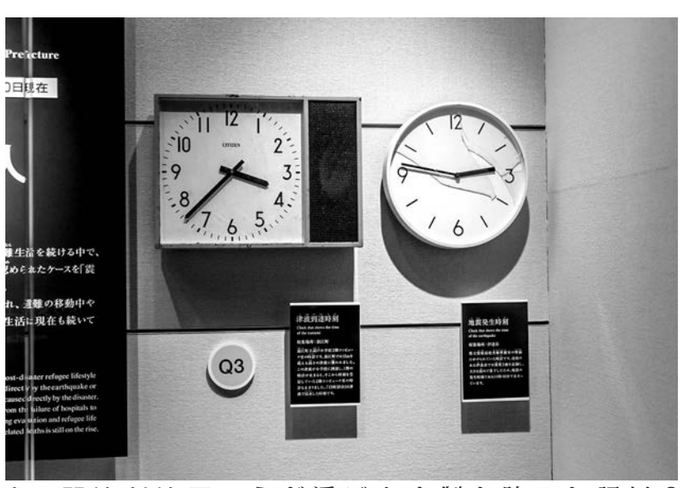
東日本大震災・原子力災害伝承館

複合災害伝える ホープツーリズム提唱

東日本大震災は、東京電力福島第1原発事故を引き起こし、「複合災害」ともいわれる。福島県双葉町にある「東日本大震災・原子力災害伝承館」は、複合災害を経験し、復興への途を歩んできた福島の記録と防災・減災の教訓を伝える施設となっている。

プロローグ→災害の始まり→原子力発電所事故直後の対応→県民の想い→長期化する原子力災害の影響→復興への挑戦―という流れの中で、地震や津波、放射能汚染の恐ろしさを知り、学ぶことができる。

研修プログラムや語り部講習もある。最近では避難を経験した被災者がつづった手記や日記を収集・保存する取り組みにも着手している。



展示物には津波発生時刻（右）と津波到達時間を表している当時の時計も

県によると、2022年度の来館者数は8万人を超え、前年度を2万人ほど上回った。20年9月の開館以来の最多記録となった。新型コロナの感染防止を目的とした行動制限が緩和され、「ホープツーリズム」が浸透したことが要因とみられる。

名取市震災復興伝承館

ジオラマで知る 震災前のまち並み

宮城県の「名取市震災復興伝承館」は名取川沿いに立つ。コミュニティスペースと展示スペース、シアタールームからなる。

コミュニティスペースでは、震災以前の閖上のまち並みを再現したジオラマがあり、今と全く異なる風景に驚く。津波のすさまじさを改めて実感でき、発生時にどう行動すべきかを考えさせる。

展示スペースでは復興に関わった人たちの証言などで構成された復興の歩みと自然災害や防災について学べる防災教育を展示している。簡単な防災のハンズオン体験もできる。

近くにある「かわまちてらす閖上」はランドマーク的存在で、地元事業者や応援者による新たなまちづくりが実を結んだ施設。店内には食事処やショップ、カフェもあり、市民の憩いの場ともなっている。

震災復興伝承館の看板。右側が施設

震災伝承施設（第３分類）

（2023年１月末時点）

第1分類は、①災害の教訓が理解できるもの②災害時の防災に貢献できるもの③災害の恐怖や自然の畏怖を理解できるもの④災害における歴史的・学術的価値があるもの⑤その他、災害の実情や教訓の伝承と認められるもの―のうち、いずれか一つ以上に該当する施設。

第2分類は、第1分類のうち公共交通機関等の利便性が高い、近隣に有料または無料の駐車場がある等、来訪者が訪問しやすい施設。

第3分類は、第2分類のうち案内員の配置や語り部活動等、来訪者の理解しやすさに配慮している施設。

【青森県】
八戸市みなと体験学習館（八戸市）

【岩手県】
津波遺構たろう観光ホテル（宮古市）▽たろう潮里ステーション（宮古市）▽宮古市市民交流センター　防災プラザ（宮古市）▽田老防潮堤（宮古市）▽震災メモリアルパーク中の浜（宮古市）▽大船渡市立博物館（大船渡市）▽久慈市地下水族科学館　もぐらんぴあ（久慈市）▽３・11東日本大震災遠野市後方支援資料館（遠野市）▽釜石祈りのパーク（釜石市）▽いのちをつなぐ未来館（釜石市）▽大槌町文化交流センターおしゃっち（大槌町）▽震災遺構明戸海岸防波堤（田野畑村）▽島越ふれあい公園（田野畑村）▽羅賀ふれあい公園（田野畑村）▽東日本大震災津波伝承館「いわてＴＳＵＮＡＭＩメモリアル」（陸前高田市）▽高田松原津波復興祈念公園　国営追悼・記念施設（陸前高田市）▽野田村復興展示室（野田村）▽山田町まちなか交流センター（山田町）▽大船渡魚市場（大船渡市）▽陸前高田市立博物館（陸前高田市）▽タピック45「旧道の駅『高田松原』」（陸前高田市）▽気仙中学校（陸前高田市）

【宮城県】
東日本大震災学習・資料室（仙台市）▽せんだい３・11メモリアル交流館（仙台市）▽震災遺構　仙台市立荒浜小学校（仙台市）▽石巻ニューゼ（石巻市）▽伝承交流施設　ＭＥＥＴ門脇（石巻市）▽東日本大震災メモリアル南浜　つなぐ館（石巻市）▽唐桑半島ビジターセンター・津波体験館（気仙沼市）▽リアス・アーク美術館　「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示（気仙沼市）▽気仙沼市　東日本大震災遺構・伝承館（気仙沼市）▽津波復興祈念資料館　閖上の記憶（名取市）▽岩沼市　千年希望の丘交流センター（岩沼市）▽東松島市　東日本大震災復興祈念公園（東松島市）▽高野会館（南三陸町）▽名取市震災メモリアル公園（名取市）▽塩釜市津波防災センター（塩釜市）▽石田沢防災センター（松島町）▽ＮＨＫ仙台拠点放送局（仙台市）▽山元町防災拠点・山下地域交流センター「１階防災情報センター」（山元町）▽山元町震災遺構　中浜小学校（山元町）▽中浜小学校震災モニュメント「３月11日の日時計」（山元町）▽名取市震災復興伝承館（名取市）▽気仙沼市復興祈念公園（気仙沼市）▽石巻南浜津波復興祈念公園（石巻市）▽石巻市震災遺構大川小学校（石巻市）▽海の見える命の森（南三陸町）▽東日本大震災慰霊碑「日和幼稚園被災児慰霊碑」（石巻市）▽石巻市震災遺構門脇小学校（石巻市）▽がんばろう！石巻看板（石巻市）▽南三陸町東日本大震災伝承館　南三陸３１１メモリアル（南三陸町）

【福島県】
アクアマリンふくしま（いわき市）▽いわき市ライブいわきミュウじあむ「３・11いわきの東日本大震災展」（いわき市）▽いわき市地域防災交流センター　久之浜・大久ふれあい館（いわき市）▽相馬市伝承鎮魂祈念館（相馬市）▽福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」（三春町）▽小峰城（白河市）▽みんなの交流館　ならはＣＡＮｖａｓ（楢葉町）▽いわき震災伝承みらい館（いわき市）▽東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）▽ふたばいんふぉ（富岡町）▽Ｎａｔｉｏｎａｌ　Ｔｒａｉｎｉｎｇ　Ｃｅｎｔｅｒ　Ｊ―ヴィレッジ（楢葉町）▽震災遺構浪江町請戸小学校（浪江町）▽とみおかアーカイブ・ミュージアム（富岡町）